

第7回（仮称）芥川龍之介記念館検討委員会 議事要旨

【日時】 令和元年12月18日（水） 午後2時30分～午後4時30分

【場所】 田端ふれあい館 2階第1ホール

【出席者】 7名

浅賀義男委員長、庄司達也副委員長、神田由美子委員、
菊池敏正委員、桜井美保子委員、関根和孝委員、中嶋稔委員

【欠席者】 浦野和也委員

【検討事項】

- ・素案および前回までの検討、試案図面を踏まえて、事業や諸室の優先順位等について検討した。
- ・書斎復元エリアを中心とする展示公開事業を最優先とし、その前提となる資料収集事業、地域への視点を重視する回遊促進事業などを重視するという意見が多く出された。
- ・建物（ハード）については、面積的な制約条件のもとで優先順位を付けざるを得ないことから、書斎復元エリアおよび展示公開エリア、交流・いこいのエリアを最大限に確保し、共有スペースはミニマムにしていくことが話し合われた。
- ・敷地全体としては、本施設における庭の重要性に鑑み、庭の整備を重視する意見が多く出された。

【説明事項】

- ・以下の3点の資料に基づき、事務局から説明を受けた。
 - ①「（仮称）芥川龍之介記念館の基本的な考え方及び整備基本構想案（素案）」（施設整備の基本的な考え方、諸室の内容、機能構成図など。前回からの修正案）
 - ②「（仮称）芥川龍之介記念館試案図面」（面積配分の視覚化として）
 - ③（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備基本計画（他施設の面積配分のあり方などの参考事例として）
- ・「ストレンジャー～上海の芥川龍之介」（NHK 総合、令和元年12月30日放映）に田端文士村記念館が資料提供等で協力し、クレジットにも記載されていることについて説明があった。
- ・芥川龍之介住居跡のサザンカ5本のうち1本が枯死しやむを得ず伐採したこと、サザンカは挿し木と接ぎ木で増殖が順調に進んでいることなどの説明があった。